

計画段階評価について  
国道188号岩国市（ふじゅう藤生～ながの長野付近）  
第3回 説明資料

平成30年2月28日

国土交通省 中国地方整備局

|                 |       |    |
|-----------------|-------|----|
| 1. 計画段階評価の検討の流れ | ・ ・ ・ | 2  |
| 2. 第2回意見聴取の概要   | ・ ・ ・ | 8  |
| 3. 第2回意見聴取の結果   | ・ ・ ・ | 12 |
| 4. 対応方針（案）の検討   | ・ ・ ・ | 23 |
| 5. 自治体への意見照会結果  | ・ ・ ・ | 29 |
| 6. 対応方針（案）のまとめ  | ・ ・ ・ | 31 |

# 1. 計画段階評価の検討の流れ

# 1-1. 評価対象区間

○対象区間における南北方向の道路ネットワークは国道188号で構成され、隣接する以北の区間である国道188号岩国南バイパスが暫定2車線で開通済み、国道2号岩国・大竹道路は事業中。



# 1-2. 前回審議内容

## ■平成29年度第3回社会資本整備審議会道路分科会中国地方小委員会の概要

実施日：平成29年10月25日（水） 開催

主な議事：①第1回意見聴取の結果

②対応方針（原案）の検討

③意見聴取方法

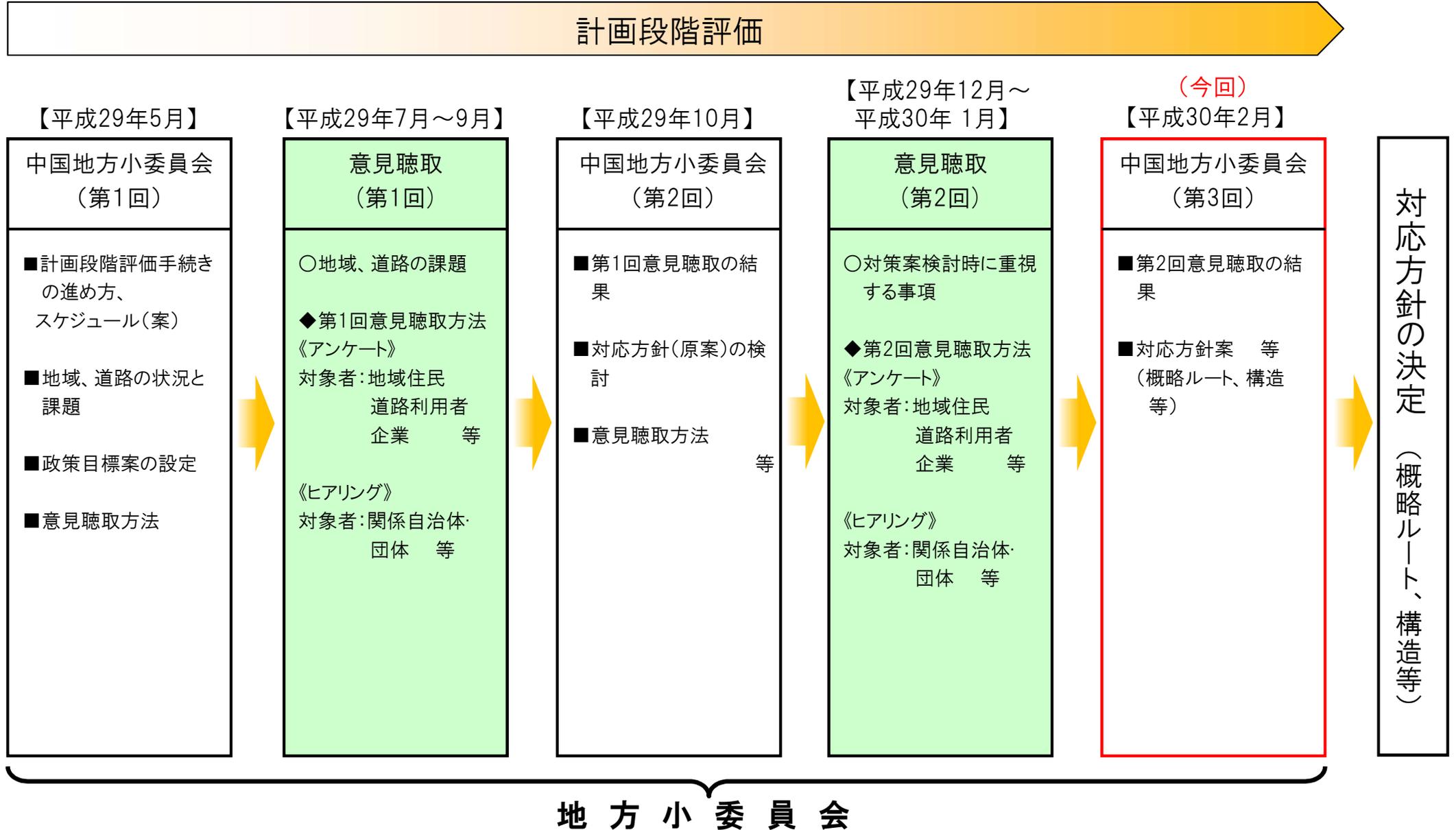
### ●前回審議にあたって主な指摘事項と対応状況

| 指摘事項  | 対応状況  |
|---|---|
| ・第2回意見聴取の質問内容については、住民の方に分かりやすくなるよう表現の仕方を工夫し見直すこと。 | ・意見聴取結果を参考に、ルート帯案を決定する旨を記載した。<br>・対策案比較表の記載内容を分かりやすくなるよう表現を工夫した。<br>・出入り箇所について、決定していると誤解を与えないよう表現を修正した。 |

# 1-3. 今後の計画段階評価の検討の流れ

## ■計画段階評価手続きの進め方、スケジュール(案)

地域住民や道路利用者の意見を聴きながら、道路計画〔概略ルート、構造等〕について検討を行う。



# 1-4. 地域の将来像、地域の活動状況との整合性

| 政策目標                | 地域の将来像・取組み  |
|---------------------|---|
| ①産業振興を支援するネットワークの強化 | <ul style="list-style-type: none"><li>○世界に広がる産業力強化&lt;元気創出やまぐち！未来開拓チャレンジプラン&gt;<ul style="list-style-type: none"><li>・産業を支える道路網の整備</li></ul></li><li>○空港を軸とした活力ある産業と観光のまち&lt;第2次岩国市総合計画&gt;<ul style="list-style-type: none"><li>・幹線道路網等の整備促進</li></ul></li></ul>                 |
| ②交通の円滑化             | <ul style="list-style-type: none"><li>○暮らしやすいまちづくり推進&lt;元気創出やまぐち！未来開拓チャレンジプラン&gt;<ul style="list-style-type: none"><li>・地域や暮らしを支える道路網の整備</li></ul></li><li>○豊かな自然と充実した社会基盤により快適に暮らせるまち&lt;第2次岩国市総合計画&gt;<ul style="list-style-type: none"><li>・岩国南バイパス南伸の早期整備</li></ul></li></ul> |
| ③交通安全の確保            | <ul style="list-style-type: none"><li>○日々の暮らし安心・安全確保&lt;元気創出やまぐち！未来開拓チャレンジプラン&gt;<ul style="list-style-type: none"><li>・子ども・高齢者等を交通事故から守る対策の推進</li></ul></li><li>○誰もが安心・安全に暮らせるまち&lt;第2次岩国市総合計画&gt;<ul style="list-style-type: none"><li>・交通安全施設整備の推進</li></ul></li></ul>         |
| ④災害時に強い道路ネットワークの確保  | <ul style="list-style-type: none"><li>○災害に強い県づくり推進&lt;元気創出やまぐち！未来開拓チャレンジプラン&gt;<ul style="list-style-type: none"><li>・災害対応力の強化</li></ul></li><li>○豊かな自然と充実した社会基盤により快適に暮らせるまち&lt;第2次岩国市総合計画&gt;<ul style="list-style-type: none"><li>・岩国南バイパス南伸の早期整備</li></ul></li></ul>           |

# 1-5. 政策目標

◇ 地域の課題及び沿線自治体の総合計画を踏まえ、当該地域の政策目標を以下に設定

地域や道路の状況や課題

地域の将来像

1. 産業振興を支援するネットワークの強化
2. 交通の円滑化
3. 交通安全の確保
4. 災害時に強い道路ネットワークの確保

◇ 対策案の検討

## 【産業振興関連】

製造業等の地域産業の活動を支援する道路整備とは

## 【交通円滑化関連】

現道の交通混雑を緩和する道路整備とは

## 【安心安全関連】

安全性を高める道路整備とは

## 【防災関連】

越波等による通行止めにおける社会経済活動や日常生活への影響を最小限に留め、住民の生活や地域の産業を守る道路整備とは

当該地域に求められるサービスとは

⇒安全・安心で円滑な走行空間を確保するとともに、地域振興を支援する道路ネットワークの確保

○対策案を検討する上でのその他の配慮事項

【自然環境、生活環境などへの影響】

【工事の影響】

【建設費】

【維持管理】

【その他配慮事項】

当該地域の課題を解決し、地域の将来像を実現する複数の対策案を設定し比較検討

## 2. 第2回意見聴取の概要

# 2. 第2回意見聴取の概要

## 1) 意見聴取の概要

### ■調査期間

平成29年12月～平成30年1月

### ■配布方法

- ①住民は全戸配布、事業所は郵送配布
- ②上記以外は市町役場や道の駅等へのアンケート用紙の設置
- ③HP上でのWEBアンケート

### ■対象

下表の通り

### ■アンケート配布範囲

※配布数は、住民アンケート



### ■質問内容

## 【 質問票 】 (回答はがきに記載してください)

みなさまが重視される事項についてご意見いただき、対策案決定の参考にいたします。

**質問1** 今回、3つの対策案を検討していますが、地域にとって望ましい案を考える際に何が重要と思いますか？  
以下の重視すべき項目①～⑭から、特に重視すべきと思われる項目について最大3つまで選んでいただき、番号とその理由や内容をお書きください。

- ① 物流時間の短縮や移動時間を読みやすくし、産業活動を支援すること
- ② 渋滞が緩和できること
- ③ 救急医療機関へ早く、確実、安全に搬送できること
- ④ 交通事故が起きにくいこと
- ⑤ 歩行者の安全性が確保されること
- ⑥ 越波による通行止め発生時に代替路が確保されること
- ⑦ 津波浸水による通行止め発生時に代替路が確保されること
- ⑧ 自然環境への影響が少ないこと
- ⑨ 道路沿線の大気質や騒音の影響が少ないこと
- ⑩ 移転などが必要な家屋が少ないこと
- ⑪ 工事中の交通規制の影響が少ないこと
- ⑫ 建設に要する費用が安いこと
- ⑬ 維持管理に要する費用
- ⑭ その他（上記以外で重視すべき項目についてご自由にお書きください）

**質問2** その他、道路を整備することによる懸念事項や配慮した方が良くと思うことなどがありましたら、ご自由にお書きください。

|                          |      |   |      |
|--------------------------|------|---|------|
| 住民アンケート(全戸配布): 約51,900世帯 |      |   |      |
| 岩国市                      | 旧岩国市 | 約45,700世帯                                       |      |
|                          | 旧由宇町 | 約3,700世帯  |      |
| 和木町                      |      | 約2,500世帯  |      |
| 事業所アンケート: 約3,400社        |      |   |      |
| 旧岩国市、旧由宇町、和木町、柳井市        |      | 約3,400社   |      |
| 道路利用者アンケート: 35箇所         |      |   |      |
| 常設                       | 観光施設 | 潮風公園みなとオアシスゆう、錦果楼、岩国シロヘビの館<br>岩国市観光交流所 本家 松がね 等 | 10箇所 |
|                          | 自治体  | 岩国市(本庁、出張所、支所)、和木町、柳井市<br>山口河川国道事務所岩国国道維持出張所    | 8箇所  |
|                          | その他  | 主要企業、商業施設、病院等                                   | 17箇所 |
| WEB                      |      | 山口河川国道事務所HP、山口県HP、岩国市HP、柳井市HP、和木町HPにバナー掲載       |      |
| ヒアリング: 37団体・企業           |      |   |      |
| 自治体                      |      | 山口県、岩国市、柳井市                                     |      |
| 沿線施設                     |      | 連合自治会、警察、消防、病院、商工会議所、商業施設、地元企業等                 |      |
| その他                      |      | トラック協会等   |      |

## 2. 第2回意見聴取の概要

### 2) 意見聴取の方法・対象者と回収率

| 調査種別    | 対象者   |              | 実施期間                             | 対象地域・団体等                              | 配布件数   | 回収件数  | 回収率    |   |
|---------|-------|--------------|----------------------------------|---------------------------------------|--------|-------|--------|---|
| アンケート   | 住民    | 岩国市(旧岩国市)    | 平成29年12月1日(金)～12月28日(木)          | 岩国市(旧岩国市)                             | 45,711 | 7,570 | 16.6%  |   |
|         |       | 岩国市(旧由宇町)    | 〃                                | 岩国市(旧由宇町)                             | 3,658  | 1,088 | 29.7%  |   |
|         |       | 和木町          | 〃                                | 和木町                                   | 2,510  | 284   | 11.3%  |   |
|         |       | その他          | 〃                                | 岩国市のうち旧市町まで記載がないもの、その他市町              | -      | 96    | -      |   |
|         |       | WEB調査        | 〃                                | 山口河川国道事務所のHPにWEBアンケート掲載               | -      | 134   | -      |   |
|         |       | 合計           | -                                | -                                     | 51,879 | 9,172 | 17.7%  |   |
|         | 事業所   | 沿線事業所        | 平成29年12月1日(金)～12月28日(木)          | 岩国市(旧岩国市・旧由宇町)、和木町、柳井市の事業所            | 3,351  | 935   | 27.9%  |   |
|         |       | WEB調査        | 〃                                | 山口河川国道事務所のHPにWEBアンケート掲載               | -      | 4     | -      |   |
|         |       | 合計           | -                                | -                                     | 3,351  | 939   | 28.0%  |   |
|         | 道路利用者 | 常設           | 平成29年12月1日(金)～12月28日(木)          | 道の駅、観光地、官公庁等にてアンケート票を配布(35箇所)、オープンハウス | 3,650  | 822   | 22.5%  |   |
|         |       | WEB調査        | 〃                                | 山口河川国道事務所のHPにWEBアンケート掲載               | -      | 89    | -      |   |
|         |       | 合計           | -                                | -                                     | -      | 911   | -      |   |
|         | 合計    |              | -                                | -                                     | -      | -     | 11,022 | - |
|         | ヒアリング | 関係自治体        | 平成29年12月25日(月)～<br>平成30年1月22日(月) | 沿線地域の自治体                              | 3      | 団体・企業 |        |   |
| 自治会     |       | 沿線地域の連合自治会   |                                  | 2                                     | 団体・企業  |       |        |   |
| 医療・福祉関連 |       | 警察署・消防署・病院   |                                  | 5                                     | 団体・企業  |       |        |   |
| 観光      |       | 観光協会         |                                  | 2                                     | 団体・企業  |       |        |   |
| 商工関連    |       | 商工会議所、商業施設   |                                  | 10                                    | 団体・企業  |       |        |   |
| 製造業関連   |       | 製造業          |                                  | 8                                     | 団体・企業  |       |        |   |
| 物流業関連   |       | トラック協会、物流事業者 |                                  | 5                                     | 団体・企業  |       |        |   |
| 交通関連    |       | バス会社、タクシー会社  |                                  | 2                                     | 団体・企業  |       |        |   |
| 合計      |       | -            |                                  | 37                                    | 団体・企業  |       |        |   |

# 2. 第2回意見聴取の概要

## 3) 回収率を上げるための取組み

### ■道路利用者アンケートの常設



▲道の駅「上関海峡」

### ■主要施設へのポスター掲示



▲岩国駅

### ■WEBアンケート実施



▲山口河川国道事務所HP

### ■自治体HPへのバナー設置

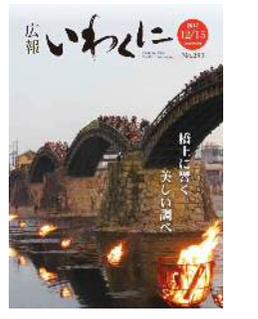


▲岩国市HP



▲柳井市HP

### ■チラシ配布 (広報いわくにに12月15日号に折込)



### ■新聞広告 (読売新聞・朝日新聞・中国新聞、12月17日朝刊に掲載)

国土交通省からのお願い

平成29年12月1日(金)～実施中

## 国道188号岩国市(藤生～長野付近)第2回アンケート調査

現在、国土交通省では、国道188号岩国市(藤生～長野付近)の道路改良に関する計画検討を行っております。今回のアンケートは、国道188号岩国市(藤生～長野付近)の改良計画の検討を進めるにあたり、周辺地域の皆様のご意見を伺い、生活に役立つ道路の検討をさせていただきたいと考えております。ご協力をよろしくお願いいたします。

**アンケート方法**

- 〒1自らの住所(配布地域(※1))の中心部にお届けする封筒
- 〒2事務所(配布地域(※2))の集約用にお届けする封筒

※1 配布地域：岩国市(自由市街・自由市街)、柳井市

※2 配布地域：岩国市(自由市街・自由市街)、柳井市、柳井市

アンケートのお問い合わせ先 (関西支所) 国土交通省 中国地方整備局 山口河川国道事務所 計画課 電話 0835-22-1819

改良計画対象区間

対象区間

詳細ルート構定の検討

地帯のみなさまからのご意見を伺います

第1回アンケート

第2回アンケート

パソコン・スマートフォンからでも回答できます!

http://www.cgr.mli.go.jp/yamaguchi/188iwakuni/enquete.html

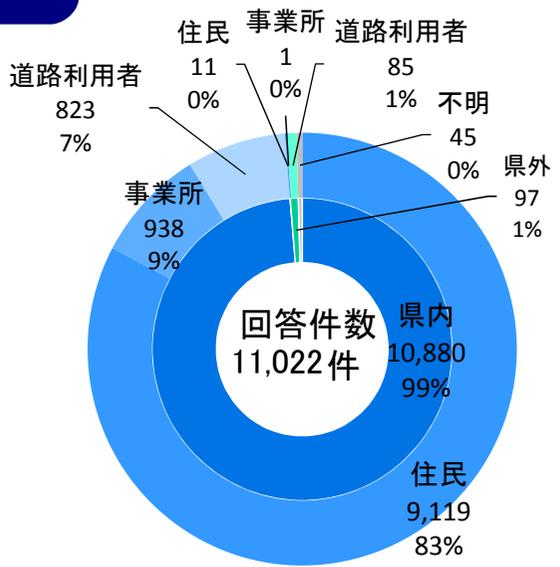
### **3. 第2回意見聴取の結果**

# 3. 第2回意見聴取の結果

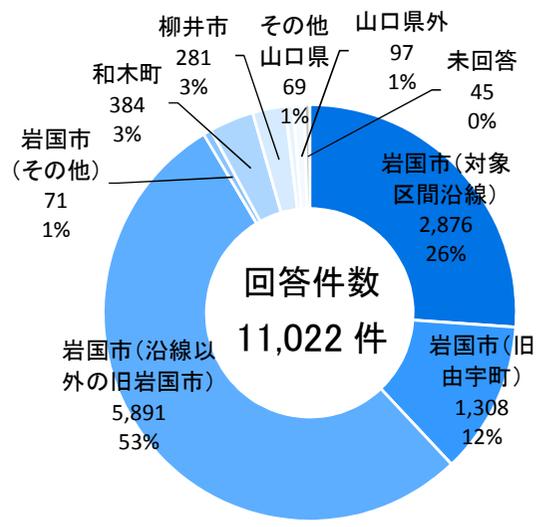
## 1) 属性

○住民約9,100人、道路利用者約900人、事業所約900社から合計約11,000件の意見聴取を実施。  
 ○回答者のうち、旧岩国市、旧由宇町からの回答が約9割を占める。  
 ○回答者の性別は約7割が男性であり、年代としては50代までが約4割を占める。

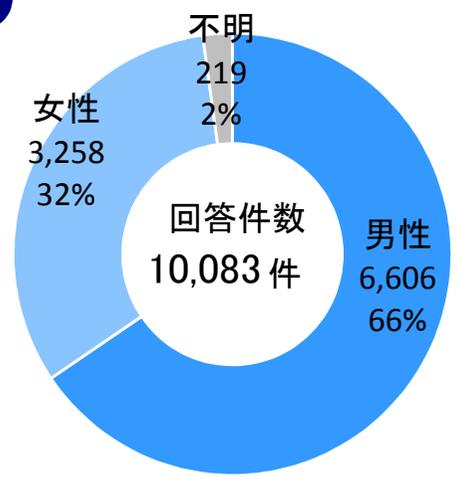
アンケート回収状況



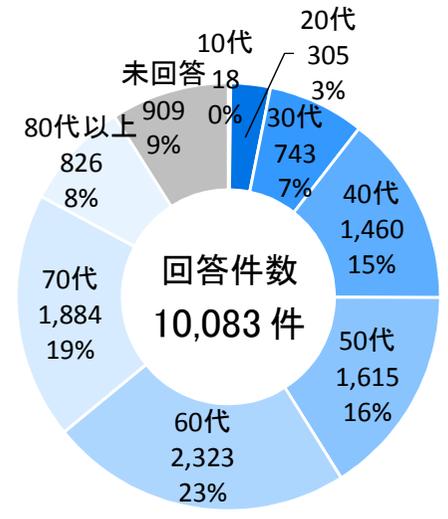
住所



性別



年代



※住民、道路利用者のみ

※住民、道路利用者のみ

### 3. 第2回意見聴取の結果

#### 2) 特に重視すべき項目（アンケート結果）

- 対策案（ルート帯案）を検討する際に重視すべきだと思う事項として「②渋滞が緩和できること」の回答数が最も多い。
- 次いで「④交通事故が起きにくいこと」「③救急医療機関へ早く、確実、安全に搬送できること」について声が多かった。
- 「⑭その他」の項目は少なく、特に重視する項目は設定した項目により概ね確認することができた。

全体

質問1 今回、3つの対策案を検討していますが、地域にとって望ましい案を考える際に何が重要と思いますか？重視すべき項目①～⑭から、特に重視すべきと思われる項目について最大3つまで選んでいただき、番号とその理由や内容をお書きください。

| 特に重視すべきと思われる項目 |                                   | 回答者数: 9,634人 |     |
|----------------|-----------------------------------|--------------|-----|
| 効果・改善点による      | ① 物流時間の短縮や移動時間を読みやすくし、産業活動を支援すること |              | 21% |
|                | ② 渋滞が緩和できること                      |              | 78% |
|                | ③ 救急医療機関へ早く、確実、安全に搬送できること         |              | 30% |
|                | ④ 交通事故が起きにくいこと                    |              | 37% |
|                | ⑤ 歩行者の安全性が確保されること                 |              | 19% |
|                | ⑥ 越波による通行止め発生時に代替路が確保されること        |              | 23% |
|                | ⑦ 津波浸水による通行止め発生時に代替路が確保されること      |              | 17% |
| 配慮すべき点         | ⑧ 自然環境への影響が少ないこと                  |              | 6%  |
|                | ⑨ 道路沿線の大気質や騒音の影響が少ないこと            |              | 4%  |
|                | ⑩ 移転などが必要な家屋が少ないこと                |              | 10% |
|                | ⑪ 工事中の交通規制の影響が少ないこと               |              | 17% |
|                | ⑫ 建設に要する費用が安いこと                   |              | 13% |
|                | ⑬ 維持管理に要する費用                      |              | 5%  |
|                | ⑭ その他                             |              | 2%  |

※割合は、回答者数に対する各項目回答数を示している。

### 3. 第2回意見聴取の結果

#### 2) 特に重視すべき項目（アンケート結果）

○住民、事業所、道路利用者ともに「②渋滞が緩和できること」が最も多い、全体的に①～⑦の“道路整備による効果・改善点”が多いなど、重視すべき項目は、対象者毎に比べても概ね同じ傾向である。

#### アンケート対象者毎

| 特に重視すべきと思われる項目    |                                   | 住民<br>(回答者数:7,989人) | 事業所<br>(回答者数:798人) | 道路利用者<br>(回答者数:847人) |
|-------------------|-----------------------------------|---------------------|--------------------|----------------------|
| 道路整備による<br>効果・改善点 | ① 物流時間の短縮や移動時間を読みやすくし、産業活動を支援すること | 20%                 | 31%                | 26%                  |
|                   | ② 渋滞が緩和できること                      | 78%                 | 81%                | 79%                  |
|                   | ③ 救急医療機関へ早く、確実、安全に搬送できること         | 31%                 | 27%                | 30%                  |
|                   | ④ 交通事故が起きにくいこと                    | 36%                 | 40%                | 40%                  |
|                   | ⑤ 歩行者の安全性が確保されること                 | 19%                 | 17%                | 21%                  |
|                   | ⑥ 越波による通行止め発生時に代替路が確保されること        | 24%                 | 21%                | 21%                  |
|                   | ⑦ 津波浸水による通行止め発生時に代替路が確保されること      | 18%                 | 14%                | 13%                  |
| 配慮すべき点            | ⑧ 自然環境への影響が少ないこと                  | 6%                  | 4%                 | 4%                   |
|                   | ⑨ 道路沿線の大気質や騒音の影響が少ないこと            | 4%                  | 3%                 | 4%                   |
|                   | ⑩ 移転などが必要な家屋が少ないこと                | 11%                 | 7%                 | 7%                   |
|                   | ⑪ 工事中の交通規制の影響が少ないこと               | 17%                 | 17%                | 17%                  |
|                   | ⑫ 建設に要する費用が安いこと                   | 14%                 | 10%                | 11%                  |
|                   | ⑬ 維持管理に要する費用                      | 5%                  | 5%                 | 6%                   |
|                   | ⑭ その他                             | 2%                  | 1%                 | 1%                   |

※割合は、回答者数に対する各項目回答数を示している。

### 3. 第2回意見聴取の結果

#### 2) 特に重視すべき項目（アンケートによる自由意見とヒアリングの結果）

○渋滞緩和、救急搬送の支援、交通事故の削減、越波・津波浸水時の代替路の確保、産業活動支援等に期待が寄せられている。

| 分類                                      | 回答者属性                        | 理由や内容   |
|---|------------------------------|---|
| ① 物流時間の短縮や移動時間を読みやすくし、産業活動を支援すること【658件】 | 企業/岩国市(沿線以外の旧岩国市)/建設業        | インフラ整備による通勤、物流時間の短縮が図られ企業の効率化や費用の削減等産業活動の支援が見込まれる。  |
|   | 企業/岩国市(沿線以外の旧岩国市)/電気・ガス・熱供給業 | 産業を活発させることにより(立地条件)企業が集まりやすくなり、町・地域全体が豊かになる。  |
|   | 住民/岩国市(旧由宇町)/50代男性           | 移動に時間がかかる。読めないことで、産業活動や地域の振興のさまたげになっている。  |
|   | ヒアリング/製造業                    | 各運送会社にて物流時間を減らしていくことで運賃も低くでき、物流も増えていけばと思う。  |
| ② 渋滞が緩和できること【2,749件】                    | 住民/岩国市(対象区間沿線)/40代男性         | 慢性的(特に、朝夕・土日の夕刻)に渋滞している・JRが不通の時、代替で集中する。  |
|   | 住民/岩国市(対象区間沿線)/80代以上男性       | 朝夕に限らず1日中渋滞がある日が多いので時間(列車飛行場)など間に合わずあせる事が多い。  |
|   | 住民/岩国市(対象区間沿線)/70代男性         | 特に、月-金の朝夕の渋滞がひどく、移動時間が長く、読みにくい。   |
|   | ヒアリング/福祉業                    | 施設のサービス提供時間が決まっているので、渋滞により利用者の受け入れ地域に限られる。  |
|   | ヒアリング/製造業                    | 搬入の際、事故などで渋滞が発生すると納入が遅れてしまう。(急いでいるときに困る)また、通勤時渋滞やのろろ運転となると事故が発生しやすいと感じる。                        |
|   | ヒアリング/観光協会                   | 岩国から柳井・周防大島方面へ周遊する観光客から渋滞していない道路の案内をお願いされることが多い。また、観光バス等が渋滞に引っかかってしまうと今後の来訪に影響があるため、渋滞の緩和が望ましい。 |
| ③ 救急医療機関へ早く、確実、安全に搬送できること【853件】         | 企業/柳井市/医療・福祉業                | 岩国医療センターに転送する際も通津をすぎてからの渋滞は患者の生命にかかわる事あり。   |
|   | 企業/岩国市(旧由宇町)/建設業             | 救急医療機関への搬送が確実に早く出来人命をすくえる。  |
|   | ヒアリング/消防署                    | 全国的に119番入電から医療機関へ搬送(収容)するまでの時間が延びている。道路対策も、時間短縮の一役を担っている。                                       |
|   | ヒアリング/消防署                    | 当消防本部の車両が当該地区を通行する大部分は救急搬送であると考えられ、業務達成の観点から考察しても、迅速・安全・確実は大事であると考えます。                          |
|   | ヒアリング/タクシー事業者                | 事前に登録をしている妊婦を病院へ搬送するサービスを実施している。年間2、3件程度の搬送がある。急に破水した時などはバイパスができたときには安心感が全然違うと思う。               |

アンケート回答者数:4,211人、ヒアリング回答者数:37件、【 】はアンケート+ヒアリングの回答件数

### 3. 第2回意見聴取の結果

#### 2) 特に重視すべき項目（アンケートによる自由意見とヒアリングの結果）

| 分類   | 回答者属性                   | 理由や内容  |
|--|-------------------------|--|
| ④ 交通事故が起きにくいこと<br>【1,174件】                 | 住民/岩国市(対象区間沿線)/40代男性    | 特に朝夕の時間帯、子供達の通学、見通しの悪いカーブが多く渋滞や事故が多いので、バイパスにより車の流れが変わることを希望します。                                  |
|  | 住民/岩国市(対象区間沿線)/70代男性    | 脇道から幹線に入るときなかなか入れず無理に入ったりするので事故が起きている。歩行者は信号が長くいららして無理に横断している。                                   |
|  | ヒアリング/タクシー事業者           | 離合するのが難しい橋や黒磯のセブンイレブンの前のカーブ、ピクロス前あたりが危険な箇所だと思う。  |
| ⑤ 歩行者の安全性が確保されること<br>【784件】                | 住民/岩国市(対象区間沿線)/60代男性    | 中洋小学校か灘中学校の生徒が通学するのに危険だと思う。  |
|  | 住民/岩国市(沿線以外の旧岩国市)/50代女性 | 歩道がないので、児童生徒の通学に安全が確保されていない。   |
|  | ヒアリング/タクシー事業者           | 通津は車と歩行者の死亡事故が多い。  |
| ⑥ 越波による通行止め発生時に<br>代替路が確保されること<br>【855件】   | 企業/岩国市(対象区間沿線)/建設業      | 黒磯地区は台風の時、越波により通行止めになる事がありました。このような時には迂回路が無く、生活全般に大きな支障が出ます。                                     |
|  | 住民/岩国市(対象区間沿線)/50代男性    | 台風等の時に越波で通行止めになるので、山間部の市道が渋滞になる。   |
|  | ヒアリング/消防署               | 該当する路線は台風等による高潮の影響を受け易い地域であり、災害も発生し易いため、代替路の確保が不可欠である。   |
|  | ヒアリング/消防署               | 当該地域を通過して救急搬送している件数は、当消防本部の全救急件数の約1割を占めており、津波・台風・高潮等により搬送経路が絶たれるようであるなら、代替路の確保を希望します。            |
| ⑦ 津波浸水による通行止め発生時に<br>代替路が確保されること<br>【641件】 | 住民/岩国市(対象区間沿線)/70代男性    | 東南海地震が予測される今日浸水による通行止は生活に大きく影響する。  |
|  | 住民/岩国市(対象区間沿線)/70代男性    | 津波は世代を超えた対策です。出来ることから除々に備えて行くべき。   |
|  | ヒアリング/消防署               | 山口県東部あるいは広島県西部で大規模な災害が発生した場合、重要な幹線道路である国道188号は現場への主要進入路になると想定されるので、通行不能となった場合の代替路は絶対に必要であると考えます。 |

アンケート回答者数:4,211人、ヒアリング回答者数:37件、【 】はアンケート+ヒアリングの回答件数

### 3. 第2回意見聴取の結果

#### 2) 特に重視すべき項目（アンケートによる自由意見とヒアリングの結果）

| 分類                               | 回答者属性                    | 理由や内容  |
|----------------------------------|--------------------------|--|
| ⑧ 自然環境への影響が少ないこと<br>【172件】       | 住民/岩国市(対象区間沿線)/40代女性     | 自然に対して優しく取りかかってほしい。手荒な事をしないで下さい。                           |
|                                  | 住民/岩国市(沿線以外の旧岩国市)/70代男性  | 自然環境を守るには山を崩したりしないで、現状を守るべきである。                            |
|                                  | ヒアリング/観光協会               | 周囲の景観を損ねる事なく、ドライバーが快適に運転できるような心配りをお願いします。                  |
| ⑨ 道路沿線の大気質や騒音の影響が少ないこと<br>【124件】 | 住民/岩国市(対象区間沿線)/60代男性     | 道路沿線の住み良い環境対策は十分行って下さい。                                    |
|                                  | 住民/岩国市(旧由宇町)/70代男性       | 渋滞の中ではアイドリングが多く排気ガスも少しではありません。                             |
|                                  | ヒアリング/バス事業者              | 渋滞が緩和される事により沿線住民の騒音・排気ガスの問題がなくなり住みやすい地域になると思う。             |
| ⑩ 移転などが必要な家屋が少ないこと<br>【405件】     | 住民/岩国市(沿線以外の旧岩国市)/70代男性  | 移転費が減ると同時に、移転に伴う住居の確保や、売収交渉等、精神面でも大変。交渉で遅れも心配。             |
|                                  | 住民/岩国市(対象区間沿線)/50代女性     | 地域には高齢者も多く、移転は負担が大きい。                                      |
|                                  | ヒアリング/連合自治会              | 以前、救急車両が入っていけない市道を広げようと岩国市が動いたことがあったが、土地を提供してもらえなかったことがある。 |
| ⑪ 工事中の交通規制の影響が少ないこと<br>【478件】    | 住民/岩国市(旧由宇町)/40代男性       | 工事により、現在でもライフラインとして貧弱な国道188号線が規制され、生活に影響が出るのが困ります。         |
|                                  | 企業/岩国市(対象区間沿線)/医療・福祉業    | 188号線で工事が行われると、さらに渋滞が悪化して仕事に支障をきたします。                      |
|                                  | ヒアリング/連合自治会              | 国道188号で規制が行われたら、交通が細い市道に迂回すると思われるため安全上厳しくなると思う。            |
| ⑫ 建設に要する費用が安いこと<br>【452件】        | 住民/岩国市(旧由宇町)/40代男性       | 国の財政が厳しい中で、建設に要する費用が安いにこしたことはない。費用対効果も大切かと。                |
|                                  | 企業/岩国市(沿線以外の旧岩国市)/運輸・郵便業 | 道路維持費用が増えるので、建設費用を最小限にすべきだと思う。                             |
| ⑬ 維持管理に要する費用<br>【190件】           | 住民/岩国市(対象区間沿線)/60代男性     | 将来にわたって次世代の人にコスト負担が少なくなるよう配慮したいから。                         |
|                                  | 住民/岩国市(対象区間沿線)/80代以上男性   | 道路の維持管理は十分な管理が必要で有り、道路が道としてある以上管理を少なくせずむ道路構造につくるべきです。      |

アンケート回答者数:4,211人、ヒアリング回答者数:37件、【 】はアンケート+ヒアリングの回答件数

### 3. 第2回意見聴取の結果

#### 2) 特に重視すべき項目（アンケートによる自由意見とヒアリングの結果）

○①～⑬以外の意見としては、「事業効果が早期に発現できること」「沿線地域のアクセス性を高めること」「良好な景観を確保すること」などの意見が寄せられている。

| 分類                       |                                  | 回答者属性  | 理由や内容  |
|--------------------------|----------------------------------|--|--|
| その他<br>配慮すべき点            | 事業が早期に完成できること【30件】               | 住民/岩国市(沿線以外の旧岩国市)/40代男性  | 早く完成すること。(時間がかかれば、工場の移転が進んでしまう)                                    |
|                          | 沿線地域のアクセス性を高めること【12件】            | 道路利用者/岩国市(対象区間沿線)/60代男性  | 現在の道路と接続を良くして、近隣居住者の便利な様にしてほしい。                                    |
|                          | 良好な景観を確保すること【2件】                 | 住民/岩国市(旧由宇町)/40代男性   | 案1の場合にBPを通すと、岩国湾が一望できる、スポットの場所となり、その後の副産物を期待できる。                   |
| 住民/岩国市(沿線以外の旧岩国市)/70代男性  |                                  | 海側の景観も考慮。  |  |
| ⑭その他<br>(回答者115人)<br>その他 | ルートに関する意見【27件】                   | 住民/岩国市(沿線以外の旧岩国市)/20代男性  | 通津地区は信号が多く常に渋滞しているので全線バイパスにしてほしい。                                  |
|                          | 道路の機能・構造に関する意見【7件】               | 住民/岩国市(沿線以外の旧岩国市)/60代男性  | 長期的に見て、道幅も十分な、立派な道路にしてほしい。中途半端なものにしないでほしい。                         |
|                          |                                  | ヒアリング/タクシー事業者  | 山水の流れに配慮し、冬季に路面が凍結しないようにしてもらいたい。                                   |
|                          | 地域活性化を支援すること【7件】                 | 住民/岩国市(対象区間沿線)/30代男性   | 道路整備時に長期的な都市計画の展望が見えてこない。ただ単純に渋滞を回避するためのバイパスにしてしまうと、周辺の過疎化を招くと感じる。 |
|                          | 公共交通を活用すること【5件】                  | 住民/岩国市(旧由宇町)/50代女性   | 公共交通機関の利用促進を図ることも重要と思う。  |
|                          | 道路整備は不要とする意見および必要性の検証を求める意見【14件】 | 住民/岩国市(沿線以外の旧岩国市)/70代男性  | 少子高齢(人口減少)が進む中、道路も新しいものはいらないように思う。                                 |
|                          | その他【27件】                         | 企業/岩国市(沿線以外の旧岩国市)/建設業  | 南道路もですが、(室の木台トンネル)の問題も早く進めてほしい。大竹-南道路が繋がらないと意味が無い。                 |
| 住民/岩国市(旧由宇町)/年齢・性別不明     |                                  | 第一回アンケートの集計のような項目確認アンケートはムダである。すでに税金を投入してしまったのだから呆れるばかりだ。こんなくだらないアンケートだけ2回も行い、市民の意見を集約したと公表されるのかと思うと憤慨に堪えない！ |  |

アンケート回答者数:4,211人、ヒアリング回答者数:37件、【 】はアンケート+ヒアリングの回答件数

※⑭その他については、回答者が複数の意見を述べることもあるため、意見数の総数は回答者数と一致しない

### 3. 第2回意見聴取の結果

#### 3) 自治体ヒアリング

○自治体からは、「渋滞緩和」「産業活動支援」「災害時の代替路の確保」等の意見が寄せられている。

| 自治体 | 主な意見(重視すべき事項)  |
|-----|--|
| 山口県 | <ul style="list-style-type: none"><li>・当該道路は、慢性的な渋滞や荒天時の通行規制等、現道が抱える課題を解消し、岩国南部地域や柳井地域から岩国錦帯橋空港や岩国医療センター等がある岩国中心地域へのアクセス性向上、安心・安全確保を図る上で重要な道路であり、その早期整備は地元の悲願である。</li><li>・当該道路の整備効果を早期かつ確実に発現させるため、地元岩国市と連携して、地域の利便性向上に資するアクセス道路の検討に取り組んでいきたいと考えている。</li></ul>  |
| 岩国市 | <ul style="list-style-type: none"><li>・終点部付近の工業団地から渋滞に影響されず物流が行えるようになることで、工業団地への誘致がアピールできる。</li><li>・災害時に道路が多重化されているということが理想的であるため、「案①:全線バイパス案」が妥当であると考えている。</li><li>・岩国市卸売市場への利便性が向上する「案①:全線バイパス案」が良いかと思うが、山間部にあるため池から農地への水の流れの分断や農地が変な形状で残ることにならないように配慮すべきと考える。</li><li>・バイパスで整備された場合は、住民の利便性を考慮するとアクセス道路が必要であると考えており、アクセス道路の整備を地域として進めていこうと考えている。</li><li>・岩国医療センター跡地は、福祉の街づくりを計画していることから計画を支援する道路整備を望んでおり、対象路線からのアクセス道路を整備しようと考えている。</li><li>・道路整備により現道の安全性の向上に期待する。</li></ul> |
| 柳井市 | <ul style="list-style-type: none"><li>・災害時のダブルネットワーク化、迂回路の確保という点から、「案①:全線バイパス案」が妥当であると考えている。</li><li>・岩国錦帯橋空港へのアクセス性の向上が、企業誘致や観光に繋がると考えている。</li><li>・広島都市圏から観光客を取り込むためには、地域の資源に立ち寄りながら柳井市にアクセスできる道路が必要と考えている。</li><li>・風光明媚な国道188号を景観資源として活用した街づくりに力を入れていきたいと考えている。その取り組みの一つであるサイクリングロードについては、今後3年程度で環境整備を行う予定である。</li><li>・柳井市は高速交通体系から離れていることもあり、企業誘致を積極的に行っているにもかかわらず、企業誘致がされていない。広島とのアクセス性が向上すれば企業進出が期待できる。</li></ul>  |

# 3. 第2回意見聴取の結果

## 4) 対象区間における地域計画

○岩国医療センター跡地においては、「福祉・交流のまちづくり構想」が計画されており、概ね8年後の整備完了が予定されている。



### ■福祉・交流のまちづくりの将来像

多くの世代の融合により市民一人ひとりの健康と生きがいを創出するとともに、市民と米軍人やその家族との交流や絆を生み、共に支えあう助け合いまちを目指す。

～誰もが支えあう地域支援と交流のまち～

### ■まちづくりの将来像を支える基本理念(目標)と必要な役割

#### 生きがい・自立・共生の場づくり

- ・高齢者への安心提供
- ・介護者や家族の負担軽減
- ・高齢者の参加型生きがいづくり
- ・障害者(児)の相談支援
- ・障害者(児)の自立支援
- ・くらしの困りごとなどの生活相談
- ・福祉・ボランティア人材育成
- ・災害等のボランティア活動支援
- ・高齢者と児童との世代間交流 など

#### 遊び・学び・育てる場づくり

- ・子育てや育児に関する相談
- ・子育てに関する学習や子育て女性の就労支援
- ・子育て支援活動の促進
- ・子どもの遊び・ふれあいの場
- ・子どもの体験・学びの場
- ・子育て家庭同士の交流の場など

#### 憩い・安らぐ・交流の場づくり

- ・健康づくりの支援
- ・スポーツを通じた健康・交流づくり など

#### いきいき・健康の場づくり

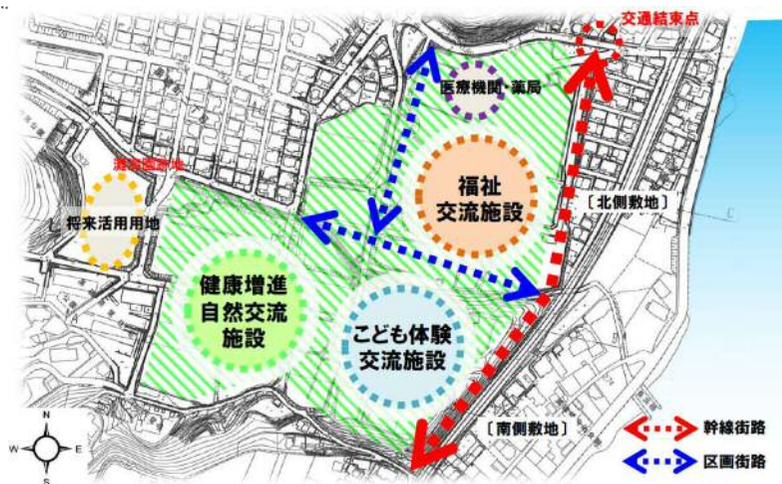
- ・健康づくりの支援
- ・スポーツを通じた健康・交流づくり など

### ■施設の構成(案)

**福祉交流施設**：福祉分野に関する包括的な相談や支援体制の充実、健康と生きがいの場づくりの創出等を行う複合施設

**子ども体験交流施設**：遊びや学習の場の創出、交流や体験を通じた親子や子育て家庭同士のふれあいの創出等を行う複合施設

**健康増進自然交流施設**：多くの市民や米軍人やその家族が寄り集うとともに、気軽に運動などに取組める多目的な屋外施設



### ■施設配置の基本方針(岩国市)

岩国南バイパス南伸の事業化にあたっては、計画地へのアクセス方法等についての検討を行い、関係機関との調整を行う。

### ■整備スケジュール(案)

|           | 平成30年度  | 平成31年度 | 平成32年度以降                                      |
|-----------|---|--------|---|
| 基本計画・基本設計 | [Progress bar from start to end of 32nd year] |        |   |
| 事業着手      |   |        | [Progress bar from start of 32nd year to end] |

平成37年度の整備完了を目指す

図 岩国医療センター跡地周辺図

### 3. 第2回意見聴取の結果

#### 5) まとめ

- 住民、事業所、道路利用者に対するアンケート調査において、「②渋滞が緩和できること」が最も重要視されており、次いで「③救急医療機関へ早く、確実、安全に搬送できること」「④交通事故が起きにくいこと」について重視する声が多かった。
- ①～⑬以外の意見としては、「事業効果が早期に発現できること」「沿線地域のアクセス性を高めること」「良好な景観を確保すること」などの意見が寄せられている。
- 自治体からは、「産業活動の支援」「渋滞緩和」「交通事故の削減」「災害時の代替路」「事業の早期完成」「沿線地域へのアクセス」に関する意見が寄せられている。

#### 対策案検討に重視すべき項目（アンケート）

| 特に重視すべきと思われる項目    |                                   | 住民<br>(回答者数:7,989人) | 事業所<br>(回答者数:798人) | 道路利用者<br>(回答者数:847人) |
|-------------------|-----------------------------------|---------------------|--------------------|----------------------|
| 道路整備による<br>効果・改善点 | ① 物流時間の短縮や移動時間を読みやすくし、産業活動を支援すること | 20%                 | 31%                | 26%                  |
|                   | ② 渋滞が緩和できること                      | 78%                 | 81%                | 79%                  |
|                   | ③ 救急医療機関へ早く、確実、安全に搬送できること         | 31%                 | 27%                | 30%                  |
|                   | ④ 交通事故が起きにくいこと                    | 36%                 | 40%                | 40%                  |
|                   | ⑤ 歩行者の安全性が確保されること                 | 19%                 | 17%                | 21%                  |
|                   | ⑥ 越波による通行止め発生時に代替路が確保されること        | 24%                 | 21%                | 21%                  |
|                   | ⑦ 津波浸水による通行止め発生時に代替路が確保されること      | 18%                 | 14%                | 13%                  |
| 配慮すべき点            | ⑧ 自然環境への影響が少ないこと                  | 6%                  | 4%                 | 4%                   |
|                   | ⑨ 道路沿線の大気質や騒音の影響が少ないこと            | 4%                  | 3%                 | 4%                   |
|                   | ⑩ 移転などが必要な家屋が少ないこと                | 11%                 | 7%                 | 7%                   |
|                   | ⑪ 工事中の交通規制の影響が少ないこと               | 17%                 | 17%                | 17%                  |
|                   | ⑫ 建設に要する費用が安いこと                   | 14%                 | 10%                | 11%                  |
|                   | ⑬ 維持管理に要する費用                      | 5%                  | 5%                 | 6%                   |
|                   | ⑭ その他                             | 2%                  | 1%                 | 1%                   |

#### 【⑭その他の主な意見】

- ・事業効果が早期に発現できること（30件）
- ・沿線地域のアクセス性を高めること（12件）
- ・良好な景観を確保すること（2件）

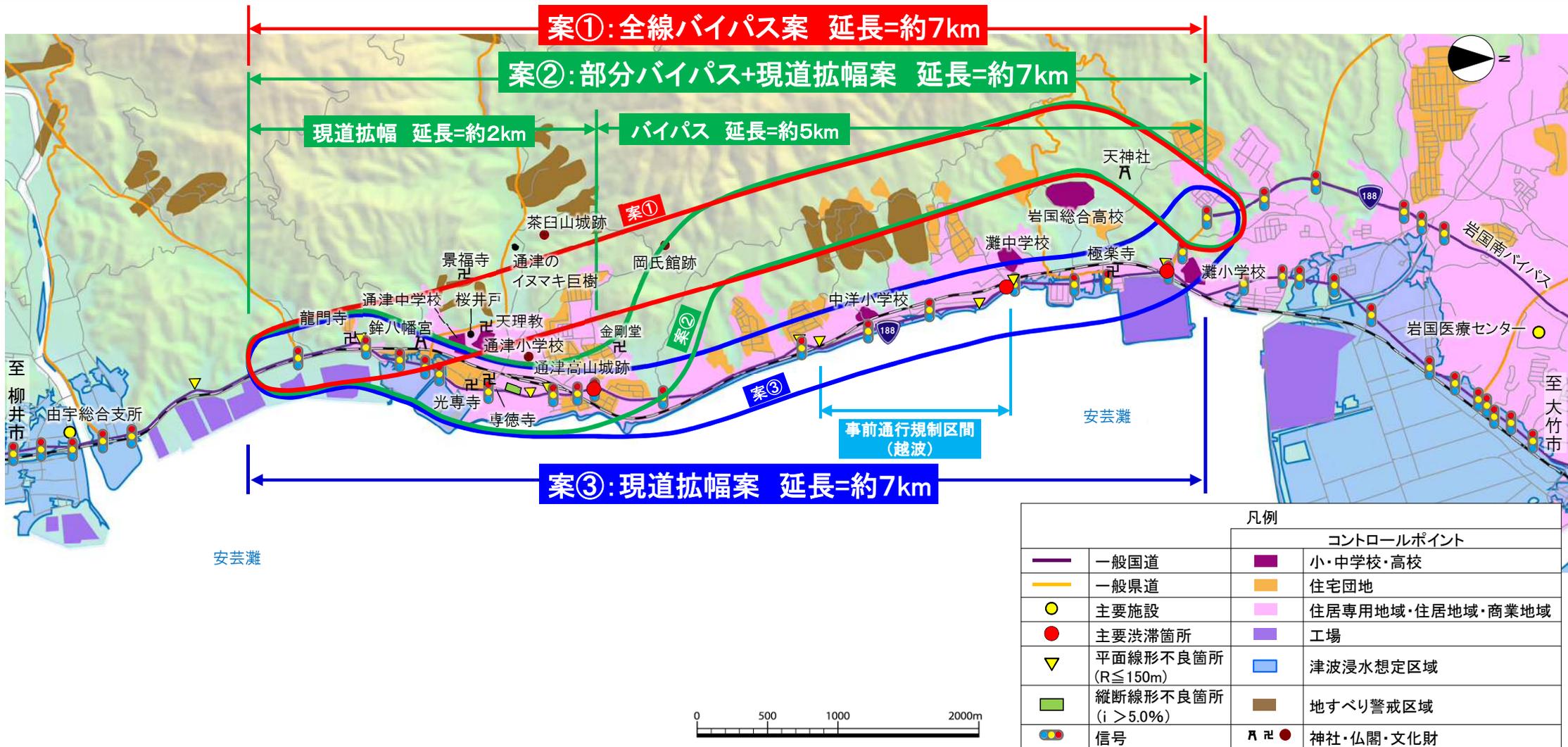
#### 自治体の主な意見（ヒアリング）

|                  |  |
|------------------|--|
| 産業活動の支援に関する意見    | 工業団地から渋滞に影響されず物流が行えるようになることで、工業団地への誘致がアピールできる【岩国市】   |
| 渋滞緩和に関する意見       | 岩国錦帯橋空港へのアクセス性の向上が、企業誘致や観光に繋がる【柳井市】                  |
| 交通事故の削減に関する意見    | 道路整備により現道の安全性の向上に期待する【岩国市】                           |
| 災害時の代替路に関する意見    | 災害時に道路が多重化されているということが理想的である【岩国市】                     |
| 事業の早期完成に関する意見    | 岩国医療センター跡地は、福祉の街づくりを計画していることから計画を支援する道路整備を望んでいる【岩国市】 |
| 沿線地域へのアクセスに関する意見 | 住民の利便性を考慮するとアクセス道路が必要である【岩国市】                        |

## 4. 対応方針（案）の検討

# 4. 対応方針（案）の検討

## 1) ルート帯（案）の概要



- 【特徴】** 国道188号の渋滞区間や災害・事故などの現道課題を解消、及び南側の工業団地へのアクセスを考慮し、以下の案を検討しました。
- 案①: 全線バイパス案** → 沿岸部の住宅団地と事前通行規制区間を回避する全線バイパス案
  - 案②: 部分バイパス+現道拡幅案** → 事前通行規制区間をショートバイパスで回避し、残る区間の現道を4車線に拡幅する案
  - 案③: 現道拡幅案** → 現道（対面2車線）を4車線に拡幅し、交通容量を拡大する案

# 4. 対応方針（案）の検討

## 2) ルート帯（案）の比較・評価 [道路整備による効果・改善点（政策目標）]

○政策目標に関するルート帯の検討を行う際に重視すべき事項について、ルート帯を比較すると、【案①：全線バイパス案】が全ての項目において改善が見込め、他案に比べ総合的に優れている。

○また、意見聴取の結果を踏まえると、政策目標のうち「②渋滞が緩和できること」、「③救急医療機関へ早く、确实、安全に搬送できること」、「④交通事故が起きにくいこと」を重視すべき項目とする意見が多く、これらの項目について【案①：全線バイパス案】は優位である。

### 道路整備による効果・改善点

| 評価項目               | 番号 | 評価ポイント  | 【案①】全線バイパス案   | 【案②】部分バイパス+現道拡幅案   | 【案③】現道拡幅案  |
|--------------------|----|---|---|--|--|
|                    |    |   | 沿岸部の住宅団地と事前通行規制区間を回避する全線バイパス案<br>一般道歩道有り<br>延長 約7km | 事前通行規制区間をショートバイパスで回避し、残る区間の現道を4車線に拡幅する案<br>一般道歩道有り<br>延長 約7km (バイパス約5km, 現道拡幅約2km) | 現道(対面2車線)を4車線に拡幅し、交通容量を拡大する案<br>一般道歩道有り<br>延長 約7km |
| 産業振興を支援するネットワークの強化 | ①  | 物流時間の短縮や移動時間を読みやすくし、産業活動を支援すること【岩国IC~由宇工業団地】      | ○・速達性が向上<br>(現況に比べて約15分短縮)                          | ○・速達性が向上<br>(現況に比べて約14分短縮)   | ○・速達性が向上<br>(現況に比べて約13分短縮)                         |
| 交通の円滑化             | ②  | 渋滞が緩和できること  | ○・バイパスに交通転換し、現道の渋滞が最も緩和                             | △・バイパス部は、現道の交通がバイパスに転換し、現道の渋滞が緩和<br>・現道拡幅部は交通処理能力が向上し、渋滞が緩和<br>・信号交差点が残り、案①より速度が低下 | △・現道拡幅により交通処理能力が向上し、渋滞が緩和<br>・信号交差点が残り、他案より速度が低下   |
|                    | ③  | 救急医療機関へ早く、确实、安全に搬送できること【柳井地区~第3次救急医療機関(岩国医療センター)】 | ○・信頼性・速達性が向上<br>(現況に比べて約9分短縮)                       | ○・信頼性・速達性が向上<br>(現況に比べて約8分短縮)  | ○・信頼性・速達性が向上<br>(現況に比べて約8分短縮)                      |
| 交通安全の確保            | ④  | 交通事故が起きにくいこと(国道188号)                              | ○・渋滞に起因する現道の交通事故が減少                                 | ○・渋滞に起因する現道の交通事故が減少  | ○・渋滞に起因する現道の交通事故が減少                                |
|                    | ⑤  | 歩行者の安全性が確保されること                                   | △・現道の歩道については現状のまま(一部未整備)<br>現道の交通量が削減し、歩行者の安全性が向上する | △・バイパス部の現道の歩道については現状のまま(一部未整備)<br>現道拡幅部については歩道が確保される                               | ○・全ての区間で歩道が確保される                                   |
| 災害時に強い道路ネットワークの確保  | ⑥  | 越波による通行止め発生時に代替路が確保されること                          | ○・通行規制の回避可能   | ○・通行規制の回避可能  | ○・通行規制の回避可能<br>(越波対策必要)                            |
|                    | ⑦  | 津波漫水による通行止め発生時に代替路が確保されること                        | ○・通行規制の回避可能   | △・バイパス部において通行規制の回避可能<br>・現道拡幅部において通行規制の回避ができない可能性有り                                | ×・通行規制の回避ができない可能性有り                                |

○:改善、△:一部改善、×:課題が残存又は他案より劣る

# 4. 対応方針（案）の検討

## 2) ルート帯（案）の比較・評価 [配慮すべき点]

○意見聴取の結果、①～⑬以外の意見として挙げられた「⑭良好な景観を確保すること」を追加する。  
 ○ルート帯の検討を行う際に配慮すべき点について、ルート帯を比較すると、【案①：全線バイパス案】が他案に比べ総合的に優れている。

### 配慮すべき点

| 評価項目    | 番号 | 評価ポイント                | 【案①】全線バイパス案   | 【案②】部分バイパス+現道拡幅案   | 【案③】現道拡幅案  |
|---------|----|-----------------------|---|--|--|
|         |    |                       | 沿岸部の住宅団地と事前通行規制区間を回避する全線バイパス案<br>一般道歩道有り<br>延長 約7km | 事前通行規制区間をショートバイパスで回避し、残る区間の現道を4車線に拡幅する案<br>一般道歩道有り<br>延長 約7km (バイパス約5km, 現道拡幅約2km) | 現道(対面2車線)を4車線に拡幅し、交通容量を拡大する案<br>一般道歩道有り<br>延長 約7km |
| 環境等への影響 | ⑧  | 自然環境への影響が少ないこと        | △<br>・バイパス部は土地(地形)を新たに改変する範囲が大きいため、配慮が必要            | △<br>・バイパス部は土地(地形)を新たに改変する範囲が大きいため、配慮が必要<br>・現道拡幅部は土地(地形)を新たに改変する範囲が小さい            | ○<br>・現道拡幅部は土地(地形)を新たに改変する範囲が小さい                   |
| 生活への影響  | ⑨  | 道路沿線の大気質や騒音の影響が少ないこと  | ○<br>・交通がバイパスに転換するため、現道沿線の生活環境への懸念が小さい              | △<br>・現道拡幅部は、現道沿線の生活環境への懸念が大きい   | △<br>・全線現道を拡幅するため、現道沿線の生活環境への懸念が大きい                |
|         | ⑩  | 移転などが必要な家屋が少ないこと      | ○<br>・約180軒   | △<br>・約220軒  | ×<br>・約400軒  |
| 工事の影響   | ⑪  | 工事中の交通規制の影響が少ないこと     | ○<br>・バイパス部工事のため、現道の交通規制が少ない                        | △<br>・一部現道の国道を拡幅するため、交通規制が多い   | ×<br>・現在の国道を拡幅するため、交通規制が最も多い                       |
| 建設費     | ⑫  | 建設に要する費用が安いこと         | ○<br>・約270～320億円                                    | △<br>・約290～340億円   | ×<br>・約410～460億円(越波対策費を含む)                         |
| 維持管理費   | ⑬  | 維持管理に要する費用            | △<br>・道路を新設し、管理する延長が増えるため、維持管理費用は現道拡幅案より高い          | △<br>・一部道路を新設し、管理する延長が増えるため、維持管理費用は現道拡幅案より高い                                       | ○<br>・現在の道路を改良するため、維持管理費用は他案より安い                   |
| 景観      | ⑭  | 道路利用者に対して良好な景観を確保すること | ○<br>・バイパス部は山際を整備するため、見晴らしの良い可能性あり                  | △<br>・バイパス部は山際を整備するため、見晴らしの良い可能性あり<br>・現道拡幅部は現状のまま                                 | △<br>・越波対策により、海辺を望む景観の良さが現在より低下                    |

○:改善、△:一部改善、×:課題が残存又は他案より劣る

# 4. 対応方針（案）の検討

## 2) ルート帯（案）の比較・評価

○意見聴取の結果、道路整備による効果、改善点及び配慮すべき点について概ね確認することができた。

| 評価項目                    | 番号                 | 評価ポイント  | 【案①】全線バイパス案  | 【案②】部分バイパス+現道拡幅案   | 【案③】現道拡幅案  |
|-------------------------|--------------------|---|--|--|--|
|                         |                    |   | 沿岸部の住宅団地と事前通行規制区間を回避する全線バイパス案<br>一般道歩道有り<br>延長 約7km          | 事前通行規制区間をショートバイパスで回避し、<br>残る区間の現道を4車線に拡幅する案<br>一般道歩道有り<br>延長 約7km（バイパス約5km、現道拡幅約2km） | 現道（対面2車線）を4車線に拡幅し、交通容量を拡大する案<br>一般道歩道有り<br>延長 約7km |
| 道路整備による効果・改善点<br>配慮すべき点 | 産業振興を支援するネットワークの強化 | ① 物流時間の短縮や移動時間を読みやすくし、産業活動を支援すること【岩国IC～由宇工業団地】      | ○ ・速達性が向上（現況に比べて約15分短縮）                                      | ○ ・速達性が向上（現況に比べて約14分短縮）  | ○ ・速達性が向上（現況に比べて約13分短縮）                            |
|                         | 交通の円滑化             | ② 渋滞が緩和できること  | ○ ・バイパスに現道の交通が転換し、 <u>現道の渋滞が最も緩和</u>                         | △ ・バイパス部は、現道の交通がバイパスに転換し、現道の渋滞が緩和<br>・現道拡幅部は交通処理能力が向上し、渋滞が緩和<br>・信号交差点が残り、案①より速度が低下  | △ ・現道拡幅により交通処理能力が向上し、渋滞が緩和<br>・信号交差点が残り、他案より速度が低下  |
|                         |                    | ③ 救急医療機関へ早く、確実、安全に搬送できること【柳井地区～第3次救急医療機関(岩国医療センター)】 | ○ ・信頼性・速達性が向上（現況に比べて約9分短縮）                                   | ○ ・信頼性・速達性が向上（現況に比べて約8分短縮）   | ○ ・信頼性・速達性が向上（現況に比べて約8分短縮）                         |
|                         | 交通安全の確保            | ④ 交通事故が起きにくいこと（国道188号）                              | ○ ・渋滞に起因する現道の交通事故が減少   | ○ ・渋滞に起因する現道の交通事故が減少   | ○ ・渋滞に起因する現道の交通事故が減少                               |
|                         |                    | ⑤ 歩行者の安全性が確保されること                                   | △ ・現道の歩道については現状のまま（一部未整備）<br>・現道の交通がバイパスに転換し、現道の歩行者の安全性が向上する | △ ・バイパス部の現道の歩道については現状のまま（一部未整備）だが、<br>現道拡幅部については歩道が確保される                             | ○ ・全ての区間で歩道が確保される                                  |
|                         | 災害時に強い道路ネットワークの確保  | ⑥ 越波による通行止め発生時に代替路が確保されること                          | ○ ・通行規制の回避可能   | ○ ・通行規制の回避可能   | ○ ・通行規制の回避可能（越波対策必要）                               |
|                         |                    | ⑦ 津波浸水による通行止め発生時に代替路が確保されること                        | ○ ・通行規制の回避可能   | △ ・バイパス部において通行規制の回避可能<br>・現道拡幅部において通行規制の回避ができない可能性有り                                 | × ・通行規制の回避ができない可能性有り                               |
|                         | 環境等への影響            | ⑧ 自然環境への影響が少ないこと                                    | △ ・バイパス部は土地(地形)を新たに改変する範囲が大きいため、配慮が必要                        | △ ・バイパス部は土地(地形)を新たに改変する範囲が大きいため、配慮が必要<br>・現道拡幅部は土地(地形)を新たに改変する範囲が小さい                 | ○ ・現道拡幅部は土地(地形)を新たに改変する範囲が小さい                      |
|                         | 生活への影響             | ⑨ 道路沿線の大気質や騒音の影響が少ないこと                              | ○ ・交通がバイパスに転換するため、<br>現道沿線の生活環境への懸念が小さい                      | △ ・現道拡幅部は、現道沿線の生活環境への懸念が大きい  | △ ・全線現道を拡幅するため、現道沿線の生活環境への懸念が大きい                   |
|                         |                    | ⑩ 移転などが必要な家屋が少ないこと                                  | ○ ・約180軒   | △ ・約220軒   | × ・約400軒   |
|                         | 工事の影響              | ⑪ 工事中の交通規制の影響が少ないこと                                 | ○ ・バイパス部工事のため、現道の交通規制が少ない                                    | △ ・一部現道の国道を拡幅するため、交通規制が多い  | × ・現在の国道を拡幅するため、交通規制が最も多い                          |
|                         | 建設費                | ⑫ 建設に要する費用が安いこと                                     | ○ ・約270～320億円  | △ ・約290～340億円  | × ・約410～460億円(越波対策費を含む)                            |
|                         | 維持管理費              | ⑬ 維持管理に要する費用  | △ ・道路を新設し、管理する延長が増えるため、<br>維持管理費用は現道拡幅案より高い                  | △ ・一部道路を新設し、管理する延長が増えるため、<br>維持管理費用は現道拡幅案より高い  | ○ ・現在の道路を改良するため、維持管理費用は他案より安い                      |
|                         | 景観                 | ⑭ 道路利用者に対して良好な景観を確保すること                             | ○ ・バイパス部は山際を整備するため、見晴らしの良い可能性あり                              | △ ・バイパス部は山際を整備するため、見晴らしの良い可能性あり<br>・現道拡幅部は現状のまま                                      | △ ・越波対策により、海辺を望む景観の良さが現在より低下                       |

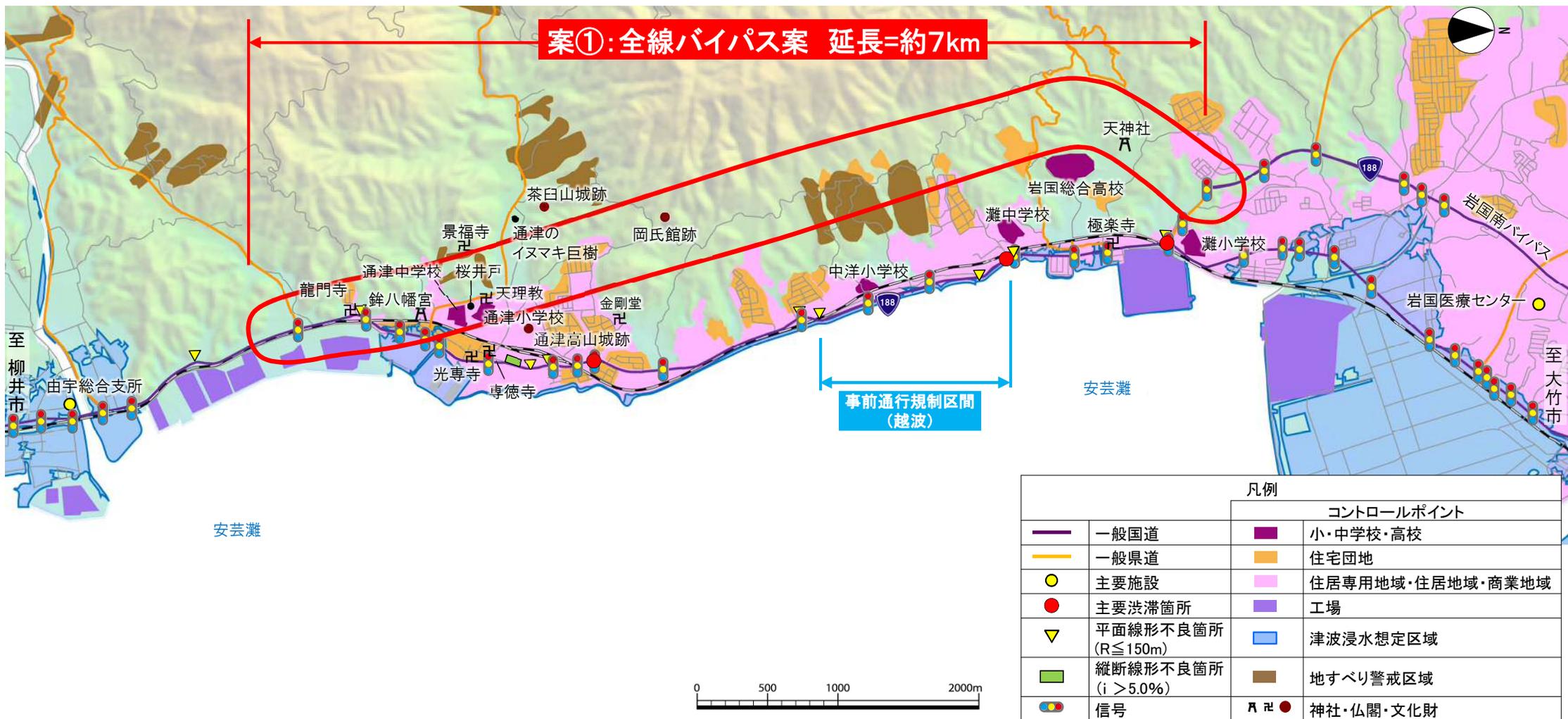
○：改善、△：一部改善、×：課題が残存又は他案より劣る



比較評価の結果、全ての道路整備による効果・改善点(政策目標)の改善が見込め、工事中の交通規制の影響が少ない、生活への影響が少ないなど配慮すべき点について総合的に優れていることから、ルート帯(案)については【案①:全線バイパス案】を対応方針(案)とする。

# 4. 対応方針（案）の検討

## 3) ルート帯（案）



**【計画・ルート帯の考え方】**  
 国道188号の渋滞区間や災害・事故など現道課題の解消及び南側の工業団地へのアクセスを考慮し、地域振興を支援する道路ネットワークの確保

## 5. 自治体への意見照会結果

## 5. 自治体への意見照会結果

### 1) 自治体への意見照会〔対応方針（案）に対する意見〕

#### 山口県

#### 意見

国道188号岩国市(藤生～長野付近)における対応方針(原案)について同意します。

国道188号岩国市(藤生～長野付近)は、慢性的な渋滞や荒天時の通行規制等、現道が抱える課題を解消し、岩国南部地域や柳井地域から岩国錦帯橋空港や岩国医療センター等がある岩国中心地域へのアクセス性向上、安心・安全確保を図る上で重要な道路であり、その早期整備は地元の悲願です。

山口県としては、当該道路の整備効果を早期かつ確実に発現させるため、地元岩国市と連携して、事業の円滑な推進に向けた環境整備に努めるとともに、地域の利便性向上に資するアクセス道路の検討・整備に取り組んでまいります。

つきましては、当該道路を早期に事業化していただくよう、特段の御配慮をお願いします。



平29道路建設第261号

平成30年(2018年)2月23日

国土交通省中国地方整備局

局長 川崎 茂信 様

山口県知事 村岡 嗣政



道路事業の計画段階評価に係る意見照会について (回答)

平素から山口県の道路行政の推進につきまして、格別の御高配をいただき厚くお礼申し上げます。

平成30年2月23日付け国中整道計第102号で意見照会のあったこのことについて、下記のとおり回答します。

記

国道188号岩国市(藤生～長野付近)における対応方針(原案)について同意します。

国道188号岩国市(藤生～長野付近)は、慢性的な渋滞や荒天時の通行規制等、現道が抱える課題を解消し、岩国南部地域や柳井地域から岩国錦帯橋空港や岩国医療センター等がある岩国中心地域へのアクセス性向上、安心・安全確保を図る上で重要な道路であり、その早期整備は地元の悲願です。

山口県としては、当該道路の整備効果を早期かつ確実に発現させるため、地元岩国市と連携して、事業の円滑な推進に向けた環境整備に努めるとともに、地域の利便性向上に資するアクセス道路の検討・整備に取り組んでまいります。

つきましては、当該道路を早期に事業化していただくよう、特段の御配慮をお願いします。

## 6. 対応方針（案）のまとめ

## 6. 対応方針（案）のまとめ

### 1) 対応方針（案）

#### 1. 道路整備の必要性

##### 【理由】

政策目標を達成できる道路整備を検討

##### 【政策目標】

- ①産業振興を支援するネットワークの強化
- ②交通の円滑化
- ③交通安全の確保
- ④災害時に強い道路ネットワークの確保

- 評価対象区間周辺には、工業団地や住宅団地が立地しているが、渋滞や事故、災害時等において、移動における速達性、安全性、信頼性が低く課題となっている。
- 住民、事業所、道路利用者及び自治体などからは渋滞がなく安全で災害時に強い道路が望まれている。

#### 2. 対応方針（案）

案①全線バイパス案を対応方針（案）とする。

##### 【理由】以下の3点を理由とする。

- 住民、事業所、道路利用者に対する意見聴取として、政策目標のうち「②渋滞が緩和できること」、「③救急医療機関へ早く、確実、安全に搬送できること」、「④交通事故が起きにくいこと」を重視すべき項目とする意見が多く、これらの項目について、案①は優位である。
- 自治体に対する意見聴取として、政策目標の「産業活動の支援」、「渋滞緩和」、「交通事故の削減」、「災害時の代替路」に関する意見が寄せられており、これらについても案①は優位である。
- 専門的な見地から、比較評価を行った結果、全ての政策目標の達成が見込める案①は総合的に優れる。

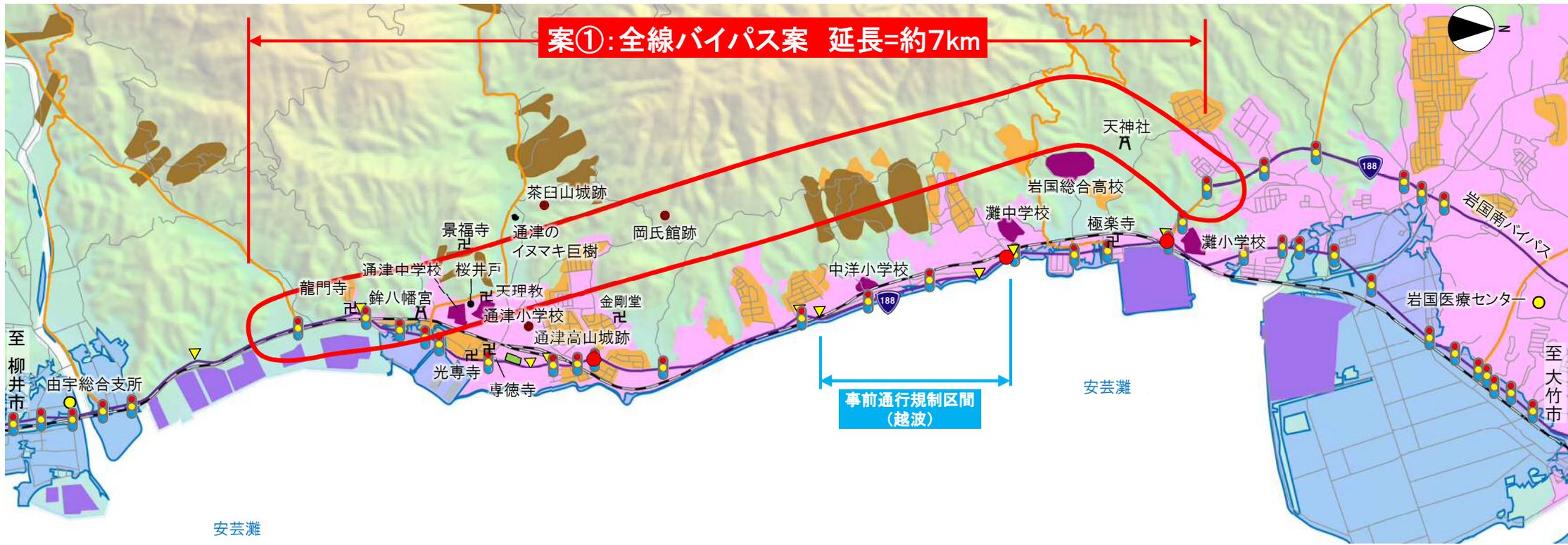
#### 3. その他

- ・具体の道路構造等の検討に際し、自然環境・沿道環境への影響、家屋の移転、工事中の影響、事業費・維持管理費のコスト縮減等にも配慮する。
- ・また、バイパス整備による交通状況の変化等に対する現道環境の整備にも努める。

# 6. 対応方針（案）のまとめ

## 1) 対応方針（案）

### 4. ルート帯



| 凡例              |                     |            |                  |
|-----------------|---------------------|------------|------------------|
|                 |                     | コントロールポイント |                  |
| — (purple)      | 一般国道                | ■ (purple) | 小・中学校・高校         |
| — (yellow)      | 一般県道                | ■ (orange) | 住宅団地             |
| ● (yellow)      | 主要施設                | ■ (pink)   | 住居専用地域・住居地域・商業地域 |
| ● (red)         | 主要渋滞箇所              | ■ (purple) | 工場               |
| ▽ (yellow)      | 平面線形不良箇所 (R ≤ 150m) | ■ (blue)   | 津波浸水想定区域         |
| ■ (green)       | 縦断線形不良箇所 (i > 5.0%) | ■ (brown)  | 地すべり警戒区域         |
| ● (multi-color) | 信号                  | ■ (red)    | 神社・仏閣・文化財        |

